

会員商工業者の
声を行政へ

小牧市へ要望書を提出

10月25日、2019年度の小牧市への要望書を、成瀬会頭（現名誉会頭）から山下小牧市長と舟橋市議会議長へ手渡しました。



▲左から 成瀬会頭(現名誉会頭)、山下市長



▲左から 稲垣副議長、舟橋議長、成瀬会頭(現名誉会頭)

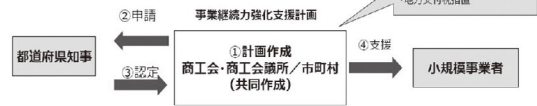
れており、国は小規模事業者支援法改正の中で、地域の防災を担う市町村と商工会議所等支援機関による小規模企業への事業継続力強化支援を求めています。

こうしたことから、市内小規模企業のBCP策定支援のため、小牧市と当会議所が協働した「事業継続力強化支援計画」の策定が必要であり、その取り組みに向けた第一歩として市内中小・小規模企業におけるBCP策定の実態把握調査を実施していただくための予算措置を要望致します。

事業継続力強化支援計画(小規模事業者支援法改正 第5条)

● 商工会・商工会議所が、地域の防災を担う市町村と連携し、事業継続力強化のための支援を行う計画（＝事業継続力強化支援計画）を作成し、都道府県知事が認定。

事業継続力強化支援のスキーム



2. 小牧ハイウェイオアシス事業に係る計画地周辺道路整備について

小牧ハイウェイオアシス事業は、小牧市東部地域全体の活性化に多大な貢献が期待できる事業であることから、当会議所としても最重要課題と位置づけ、事業運営のための新会社に出資するなど事業開始に向けて鋭意取り組んでおります。

つきましては、計画地周辺の道路整備の一環として、半世紀の長きに亘る地元からの要望でもある県道明知小牧線の南側「大山東大山南線」の西側（市道高畑1号線）への延長を早期に実現いただくよう要望致します。

要望書の内容

1. 市内中小・小規模企業のBCP策定取組み支援について

自然災害等が市内企業の事業活動に及ぼす影響を最小限にするため、事前の備えや事業継続計画(BCP)策定が重要です。しかし、2019年版小規模企業白書によれば小規模企業によるBCP策定の取組みは2.2%と進展していない旨報告さ



▲整備を要望する道路の略図

3. 観光の振興について

2016年3月に策定された小牧市観光振興基本計画は、対象期間が2016～2020年の5年間であり、来年度(2020年度)が改定取り組みの年度にあたります。

そこで、これまでの取組みを検証し、新たな視点をもって、小牧市のさらなる活性化に繋がる観光振興の方向性を定めていただく上で、次の3つの項目を要望致します。

(1) 小牧山及び小牧山周辺の施設整備について

「れきしるこまき」を有する小牧山への誘客推進策を模索する中、昨年度の当会議所からの小牧山西側バス専用駐車場整備に関する要望に対し、小牧市の回答では、「同駐車場は観光バスの待機所であり、小牧山来訪者のバス乗降場所とは考えていないため、同駐車場へのトイレ施設整備は考えていない。トイレに関しては市役所1階トイレを利用願いたい」との内容でした。

その回答に関して、

①「小牧山」および「れきしるこまき」への誘客推進には、旅行者に選ばれることが必要との認識から、待機中のバス乗務員等への配慮

②小牧山南側のバス乗降ロータリーの活用を今後推進した場合のトイレ利用に関し、市役所本庁舎1階トイレでは、小牧山側からの道路横断が必要であり、また、土曜・祝日は閉庁で本庁舎へ入るためには、南側通用口まで行く必要があり、トイレ利用者にとってわかりにくく不便

の2点を考慮することが必要と考えます。

そこで、小牧山および小牧山周辺の価値・魅力

を高め、また、旅行者が小牧山を観光コースに取り入れやすいように、小牧山西側バス専用駐車場のトイレ等施設整備と同駐車場から小牧山への歩道整備を要望します。

(2) 観光誘客推進の施策について

観光推進において市外からの来訪者増加を図るのであれば、旅行者による小牧に立ち寄るツアー商品の企画立案の促進に繋がるインセンティブ設定等、新たな助成施策の実施を要望致します。

また、小牧児童館跡地(現在は図書館駐車場)でのフードコートや土産店など飲食・物販の拠点整備を合わせて要望致します。

(3) 観光資源としての伝統ある文化財の保存と文化伝承の支援強化について

秋葉祭の山車4台と小牧祭の山車1台については、小牧市が有形民俗文化財と指定し、維持管理費の一部補助金を交付されています。しかしながら、山車自体が老朽化し、修繕費も高額で、実際には所有団体が自分たちで最低限の修繕のみ行うなど維持管理費が賸っていないのが実情です。

特に、本年より始まった新たな「こまき令和夏まつり」と250年以上の伝統・歴史を持つ「秋葉祭」が同日開催され、多くの人に山車を知っていただく機会となりました。

つきましては、多くの来訪者に感動を与えられるような観光資源となりうる、文化財としての山車保存と文化伝承の観点から、助成制度創設・助成金増額など山車5台の維持管理への支援強化に繋がる施策の実施を要望致します。



4. ドライブレコーダー設置補助金創設について

昨年度の当会議所からのドライブレコーダー設置補助金創設要望への回答では、「車載ドライブレコーダーの市場価格は1万円を切るものから2万円強の価格帯が中心で、設置コストも比較的安価である。また、現在、市民向け補助金制度がないので、事業者向け補助金制度の優先設置は市民へ説明ができない。よって事業者向け補助金制度創設は今のところ考えていない。」との内容でした。

この回答に関して、

- ①費用面において、画質が良く、前方・後方の2方向装着などの場合は、取付け工賃を含むと3万円台～4万円台
- ②市民向け補助金制度が無いために事業者向け制度が設置できないなら、市民と事業者の双方を対象にした制度を創設
- ③最近ではあおり運転から傷害事件へ発展する事案なども増え、その際はドライブレコーダーの映像が被害者の立場を守ると共に加害者の責任



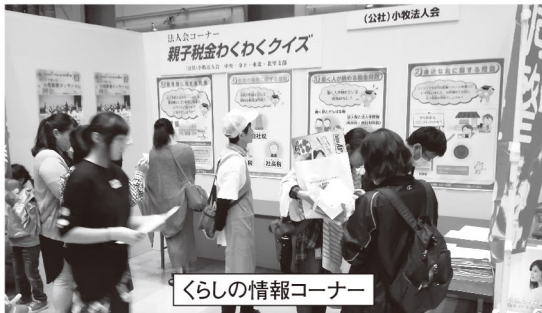
追及に大きな役割を果たしており、設置意識が向上
④事業用車両は一般市民所有の自家用車より日常的な使用頻度が高いと思われ、昨年8月に小牧警察署・小牧市・当会議所の三者で締結した「ドライブレコーダーの記録映像の提供に係る協定」の主旨からも、市民のみならず事業者の積極的な事故防止や防犯への協力を促進
の4点を考慮することが必要と考えます。

つきましては、昨年度要望への回答を踏まえ、市民と事業者双方を対象にしたドライブレコーダー設置補助金制度の創設について要望致します。

以上

報告

ふれあいの輪をひろげよう! 第40回小牧市民まつり



くらしの情報コーナー



楽市楽座



こまき市場

10月19日・20日に「第40回小牧市民まつり」が開催されました。当所として、小牧山会場で「楽市楽座」、市民会館会場では「こまき市場」「くらしの情報コーナー」を協賛実施し、大勢の来場者でにぎわいました。

楽市楽座では、織田信長にゆかりのある地域、FDAの就航先、近隣市町の観光協会等より地元の特産物販売が行われました。